旧庁舎解体撤去及び土壌汚染対策等工事住民説明会　概要

日　　時：令和２年７月４日（土）　9:30～11:50
場　　所：国立医薬品食品衛生研究所旧用賀庁舎　14 号館

＜主なご発言と回答＞

質問・・土壌汚染調査は建物の下も実施しているのか。
回答・・実施しています。

質問・・特定有害物質名等が記載されている土壌汚染調査結果の地図をもらいたい。
回答・・本日配布しました資料の東京都広報（写）に記載されています。

質問・・どの箇所からどの特定有害物質が出たのかわかるものが欲しい。
回答・・検討して回答します。

質問・・汚染土に降った雨により汚染された水が排水桝に溜まった後の処理はどうなるのか。
回答・・排水桝に溜まる水は汚染土の除去後となるため、汚染されていない雨水が溜ります。

質問・・汚染土壌を取り除くまでに大雨等があった場合、地下水に汚染物が流入しないのか。
回答・・東京都の指示を受けて、汚染土壌にはブルーシートで養生し、流出しないように対応するとともに、定期的に水質検査を行っています。

質問・・土壌汚染工事の際、汚染土壌を取り除いた後、どの程度の期間で対応をするのか。
回答・・汚染土壌を取り除いた後、速やかに健全土で埋めることとしています。

質問・・土壌汚染調査で、研究用の有機溶剤（ベンゼン・クロロホルム等）は、検出されなかったのか。
回答・・研究用で使用していた有害物は少量であり、かつ適切に管理されていたので問題はありません。

質問・・煙突部分のダイオキシンの洗浄水は溜まったままにならないのか。
回答・・ダイオキシンの洗浄水は循環利用した後、回収するので、溜まることはありません。

質問・・焼却炉は、人体に影響を与えるようなウイルスなどの感染性物質が無いことを確認しているのか。
回答・・焼却炉なのでウイルスであれば高温で熱せられ燃えつきていますので、問題はありません。

質問・・解体ガラを再利用するとのことだが、煙突では有害物（ダイオキシン、アスベスト）を使用しているのではないか。
回答・・調査の結果、アスベストは使用していなかった。有害物を除去したガラをリサイクルする。

質問・・騒音と振動により生活に影響がでないような対応策はあるのか。
回答・・関係法令を遵守し、計測器をつけて適正範囲内になるように努力します。

質問・・騒音・振動計の表示場所は見やすいようにしてほしい。
回答・・見やすい表示となるように努めます。

質問・・工事に伴う苦情が出た場合の対応はどうするのか。
回答・・まずは工事事務所に連絡をいただき、話をお聞きして状況を確認させていただき対応していきたいと思います。

質問・・粉塵対策は大丈夫なのか。
回答・・粉塵が極力出ないよう放水しながら解体を行います。

質問・・排水桝の位置の設定根拠はなにか。２つは少ないのではないか。
回答・・現在の国衛研の放流先の２箇所となっているため問題はありません。

質問・・工事中に３メールの囲いを作るとのことだが、立地上３丁目方向から強風が吹くことがあるので、事故のないようしっかり対応してほしい。
回答・・ご意見を踏まえ、事故のないよう適切に設置します。

質問・・工事の予定（計画）は、周辺住民にどのようにお知らせするのか。
回答・・工事予定については出入口の掲示板でお知らせします。

質問・・土日は休工の説明があったが、祝日はどうするのか。
回答・・祝日も休工となります。

質問・・保存要望樹以外は全て伐採ということか。
回答・・全て伐採することとしています。

質問・・敷地内の全ての樹木を伐採するのか。
回答・・保存要望樹以外全て伐採することとしています。

質問・・〇弦巻通りは狭い道路のため、もっと誘導員を配置するべきではないか。
〇道が狭くてダンプが通ると自転車も通れない。現在考えている安全対策は不十分ではないか。
〇大山街道の十字路は信号がなく、また生活道路となっているため誘導員の配置等の安全対策をお願いしたい。

回答・・運転手が安全確認して道路に出ることはもとより、出入口には誘導員を配置することとしています。誘導員を増やすなどより安全に配慮した対応を考えます。

質問・・交通量を考えると歩者分離の信号となった上用賀一丁目交差点にも交通誘導員を配置するべきではないか。
回答・・検討いたします。

質問・・工事時間は 8 時から 17 時とのことだが、トレーラー等の車両は、この時間の前後に出入りするのではないか。誘導員が配置される時間はどうなるのか。
回答・・この点も先程来のご意見と同様に検討します。

質問・・馬事公苑のオリンピック関係工事の車両と見分けのつくように、車両のフロントガラスにパネルなどを表示するよう要望する。
回答・・ご要望にそえるよう適切な実施に努めます。

質問・・大山街道に面した塀はいつ壊すのか。道路が狭く、工事期間中に大型トラックが通ることを考えると仮囲いを敷地内に建てて道路を広くできないか。
回答・・この塀の箇所は高低差があり、塀で土砂を押さえているので、塀を取ってしまうと土砂が道路に崩れてしまうことから、壊すのは物理的に工事終了間際となります。

質問・・家屋調査の対象となる 30 メートルとは、どこから 30 メートルなのか。
回答・・国衛研の敷地境界から 30 メートルとなります。

質問・・家屋調査結果は公表されないのか。そもそも調査を希望しない人もいる。
回答・・調査を実施された方にはおおむね２～３か月後に結果をお知らせいたします。
なお、調査をされない方については、辞退書類をご提出いただくこととなります。

質問・・家屋調査に関して、マンションの入居者は個別に調査してもらえるのか。
回答・・個別に対応いたします。

質問・・家屋調査に関して、３０メートル範囲の対象家屋へは個別に連絡があるのか。
回答・・個別にご連絡し、調整させていただきます。

質問・・コロナ対策について、国で様々な施策・取組を検討していると思うが、これらの実施・徹底により工期が延伸となるのではないか。
回答・・この住民説明会もコロナ対策による開催遅延で、着工が当初の予定から 2-3 か月遅れている状況です。今後、新型コロナウイルスの感染拡大などによりさらに工期が延伸する可能性はあります。

質問・・工事期間や更地になった後、警備（不審者等）や草刈を行うのか。
回答・・工事中は工事業者が駐在していますので対応できますし、工事後は財務省に引継ぎが完了するまでは、国衛研が現状と同様に実施することを考えています。

質問・・更地にした後の予定はどうなるのか。
回答・・財務省関東財務局に返還後の跡地の用途につきましては、所管外であるため、国衛研からはお答えできません。